

【重要】血小板製剤の輸血による細菌感染について

日本輸血細胞治療学会
安全委員会

令和4年12月2日での厚生労働省血液事業部会で血小板製剤の輸血による重篤な細菌感染事例が報告されました。詳細については、こちら ([輸血情報](#)、[厚生労働省血液事業部会](#)) をご覧下さい。

日本赤十字社では、細菌混入に対する輸血用血液製剤の様々な安全対策をされていますが、混入を完全に排除することは難しく、医療機関での安全対策も引き続き重要であり、再度輸血用血液製剤の外観確認、輸血開始後の患者観察等の安全対策の徹底に努めて下さい。